

誠実に一生懸命!

# 直心

題字:長泉寺住職 後藤佑芳氏

## 県政だより

第38号(2012年1月)

静岡県議会議員

# あつみ泰一



### 県政の健全な発展に向けて 一知事と車の両輪で

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は東日本大震災をはじめ、台風12号、15号など自然災害が際立った年でした。またタイの大洪水などに見られるように世界中で異常気象が頻発しており、地球の危機に自然界が警鐘を鳴らしているのかも知れません。私たちは早く地球環境の健全性を取り戻さなければなりませんと思います。

さて、川勝県政も早や2年半が経過しました。知事自らの行動力とマスコミを最大限に活かすことによって、県民の皆さんには県政をより身近に感じて頂いているのではないのでしょうか。知事は、東日本大震災に際しても、岩手県遠野市に現地支援本部を設置し、大槌町、山田町への支援を即断され被災地から高い評価を得ました。また、今被災地で大きな問題となっている災害廃棄物の県内受け入れについても、県内市町に対して処理余力の1%の受け入れを提案し協力を取り付けるなど、ここでも行動力を発揮された。

しかしその一方で、知事の思いつきでの発言や職員の意見に耳を貸さないなどという声も聞こえて来ます。県の行政力が職員の総力によって十分に発揮されるよう、気が付いたことは知事に対してもどしどし提言します。県政発展に向けて、議会と知事が互いに車の両輪としての役割を果たせるよう、しっかり取り組んでまいります。

渥美 泰一

### 県議会12月定例会 補正予算:総額186億6,100万円を決定

台風15号などによる災害復旧・国の第3次補正予算等を活用して、地震・津波対策、医療体制の整備を行います。

#### ■台風15号等の災害復旧に27億1,560万円

●公共土木施設・農林水産施設の復旧、術研究所の修理、地すべり農地・治山対策など

#### ■県民の暮らしを守る経費に76億6,239万円

- 災害拠点病院を中心とした医療体制の強化
- 失業者の一時的な雇用のための基金積み増し
- 交通信号機をLED方式に改良
- 浜岡原発の温水利用研究センターを利用継続するための基金積み増し

#### ■地震・津波ハード対策に83億450万円

●橋りょう・水門の耐震化、道路・河川の整備、砂防・堰堤、治山林道等の整備

### 文教・警察委員会 渥美泰一委員による質疑より抜粋

#### 教育委員会関係 教職員による不祥事を集中審査しました。

##### 不祥事の要因分析の徹底を

**Q** 前回の委員会でもこの問題を指摘したが、一向に減らない。通り一遍のことをやっても対策にならない。まずは個々の要因分析が必要ではないか。事件を起こした教職員のプライバシーに踏み込むことになるが、本人の性格、精神分析、家庭環境、夫婦関係、職業能力と評価、職場関係、対人関係など、どこまでやれるか。

**A** 難しい面もありますが、可能な限り調査し対策につなげます。

##### ストレスを溜めない環境作りを

**Q** 仕事を始め、さまざまな要因でストレスが溜まるのは、どの職業でも同じだ。大事なことは、ストレスを溜めない環境作りと本人の工夫・努力ではないか。

**A** 校内コミュニケーションの活性化の基本である職員相互の挨拶や声掛けの励行や、コミュニケーション能力を高める研修も行ないます。

##### もっと学校の自主・自立を

**Q** 教育委員会から、さまざまな対策のための指示を出していくようだが、問題は実際に行動を起こす学校現場の意識だ。もっと各学校の自主性に任せた方が良い結果が出るのではないか。そのためには校長の権限・責任・任期を見直し、校長を中心に職員が一丸となって取り組める体制にすべきではないか。

**A** 教育現場の改革に向けて研究し、結論を出したいと思います。

##### 危機管理能力を身につける防災教育を

**Q** これまでの防災教育は、防災に関する知識や、災害発生後の避難活動や助け合うことなどを教えた。東日本大震災の教訓から、自分の命を守るための判断力、主体的な行動の重要性が分かった。今後は、子供のうちから危機管理、危機回避能力を身につけることや、被災後の復旧復興のための力になることを教える必要があるのではないか。

**A** 委員ご指摘のとおり、今後は命を守り、命を助ける教育を考えて行けなければならないと思います。

##### 心の絆をどう教えるか

**Q** 東日本大震災では、助け合いの心の重要性を改めて認識した。人間が極限状態に陥った時、人間らしい心の絆が救いとなる。近年、人との関わりを嫌ったり、絆はゆるい方が良くという考え方がはびこっており、こうしたことが教職員の不祥事の要因に通ずるものがあるのではないか。

**A** 日本人の心や絆の大切さを改めて見直す良い機会であると思います。どのような形で教えていくか研究してまいります。

#### 公安委員会関係

##### 全座席シートベルト着用の強化を

**Q** このところ東名高速道路では、後部座席でシートベルトを着装していないことによる死亡事故が多発していると聞く。もっと取り締まりと罰則を強化し、着用の習慣化を促す必要があると思うが、どう取り組むか。また、タクシーの乗客の着装対策には、タクシー業界にも協力を求める必要があるのではないか。

**A** ご指摘の通り、東名での死者39名の内、シートベルト非着用が24名、その内シートベルトを着用していれば命が助かったと思われる人が17名です。これまでの取り締まりでは注意、喚起程度であったが、今後は取り締まりと罰則の強化をしてまいります。また、タクシーの運転手から乗客に対して着用を促して頂くよう、協力をお願いしてまいります。

##### 悪質商法の取り締まり対策

**Q** 最近、未公開株の購入などの名目で高齢者が悪質商法の被害に遭うケースが増えてしていると聞く。被害の状況と未然防止対策にどう取り組むか伺う。

**A** この手の悪質商法で、今年上半期で相談件数が189件、被害額は6億円を超えました。昨年度も8億円超でした。手口は電話での勧誘で、高齢者が狙われています。未然防止対策として、独居老人の訪問活動を行うことと、注意喚起のチラシを配布します。

### TPP(環太平洋経済連携協定)交渉に関する意見書を提出しました。

内容:「野田総理が、昨年11月のAPECにおいてTPP交渉参加を表明した。しかし、国民に十分な情報開示や説明をせず、国益についての十分な議論もなされていないことに、与党内からも不安視する声が続々出てくる。一説では、沖縄普天間基地移転問題のミスに対する米国への代償と云われている。

日本の農業への影響だけでなく、外国人労働者の流入による雇用へ影響、さらには

輸入食品の安全基準の緩和や医療の営利産業化による公的保険制度の崩壊など国民の安全と安心を支える制度が変わる危険性も指摘されている。よって国においては、TPPのメリット・デメリット等を分かりやすく国民に説明すること、日本の国益や国民生活の安定などを最優先として考え、慎重に取り組むよう強く要望する。」

■静岡県の危機管理

●津波対策を前倒して行います

当面の対策として、国の第3次補正予算を積極的に活用し、水門の耐震化や堤防の補強、液状化対策など、緊急に取り組む必要のある対策を実施していきます。

中長期的には、国が今年夏頃に示す予定の「東海・東南海・南海」3連動地震の被害想定に基づき、計画的な津波対策を推進します。



御前崎港における津波対策工事を監査。

防潮堤の嵩上げ、胸壁の新設、緊急避難場所の確保などを行っている。現在の計画は、平成19年にはじまり平成30年の完了予定。

●富士山静岡空港を基幹的広域防災拠点施設に

東日本大震災では、ヘリコプターによる情報収集や救出・救助、物資搬送など、空からの支援が大きな力となったことから、国では、広域的な災害に対応するため、新たに中部圏に緊急物資の中継・分配機能、応急復旧用機材等の備蓄機能、広域支援部隊のベースキャンプ機能などを有する基幹的広域防災拠点施設を整備する構想がある。富士山静岡空港の西側には広大な土地があり、この構想に最適であることから、国の整備事業に採択されるよう働きかけを行います。

また、現在御前崎市にある浜岡原発オフサイトセンター(緊急時対応策拠点施設)は浜岡原発から2kmの位置にあり、放射能事故の際には使用できなくなることから、浜岡原発から20kmの距離にある静岡空港をオフサイトセンターの移転先の候補地とするよう国に要請しています。

●災害時相互応援協定を結びました

7月の熊本県に続き、11月4日に鹿児島県と協定を結びました。これにより相互に職員派遣や物資、資機材の調達などが迅速に行われるようになります。

鹿児島県では、桜島の火山避難訓練を毎年行っており、このノウハウが富士山や伊豆東部火山群の対策になるものと期待します。また、本県からも、これまでに培ってきた地震対策に関する情報を提供するなど、互いに連携の強化を図ります。

●地域防災力の強化

現在ある自主防災組織が、いざという時に役に立たなければ意味がないが、長年のあいだにマンネリ化しているところが多い。その土地その土地に合った訓練を計画し、実効性を高めることが必要です。自主防で特に大事なことは、人命救助と初期消火です。機動力のある組織体制と必要な機材を整備し、定期的な訓練を続けることが大事です。また県としては、自衛隊、消防、警察そして米軍などとの防災訓練を通して、協力体制の一層の強化を図っていくことが必要です。

●放射能汚染に対する食の安全安心の確保

県内産の農畜水産物の放射能物質に関する検査計画を策定し、主要品目や本県の特産物38品目の検査を昨年7月から実施している。一時間問題となった伊豆の乾しいたけは、安全が確認できたので、自主回収を取り消しました。

お茶についても、生産者に対する茶園管理の徹底を指導した結果、安全の確保ができたということです。引き続き、検査体制を強化し、食の安全確保に努めるとともに、本県の食品の安全性をPRし、風評被害対策に努めなくてはなりません。

●雇用対策—3万人雇用アクションプランを策定します—

本県の有効求人倍率は0.64倍と、回復傾向にはあるものの、38ヶ月連続で1倍を下回っており以前厳しい状況が続いています。そこで県は昨年10月、産業界や労働界、教育界など各界各層の皆様による「雇用創造県民会議」を開催し、新たな雇用の創造と産業復興のための意見を集約。これらを踏まえ、完全失業率を現在の4.0%(5位)を2.5%(3位)に、有効求人倍率0.52倍(31位)を1.20倍(10位)にする目標を掲げ、平成25年度までに3万人の新たな雇用を創造するアクションプランを1月中旬に策定し、全县を挙げて雇用対策を進めることとしております。

●エネルギーの地産地消を推進します

福島原発の事故を教訓に、従来の一極集中依存型から分散自立型のエネルギー体系への大転換により、エネルギーの地産地消を目指す必要があると思います。県では昨年10月、学識経験者、エネルギー供給業者、民間企業等が参加する「分散型エネルギーシステム活用研究会」を立ち上げ、地域内で電気や熱を有効利用するための検討を進めています。システム導入や維持管理コスト、電気や熱を融通するための手法や料金等が課題です。

自民党浜北支部で視察研修を行ないました。(2011年11月)

工事中の新東名を走ってみました。



御殿場JCT(ジャンクション)～三ヶ日JCT間は当初の予定を早めて、今年初夏の開通を目指し、アスファルト舗装や防音壁、サービスエリアなどの工事が急ピッチで進められている。浜松・浜北IC(インターチェンジ)及びスマートICが設置される浜松SA(サービスエリア)周辺は、国道・県道の幹線道路の結末点としての立地を活かし、企業の誘致や移住・定住の促進による新たな発展が期待される。今後は、防災、環境、物流、観光、新たなライフスタイルの提供などの様々な視点から提案し、魅力ある地域づくりを進めてまいります。

山梨県都留市 家中川小水力発電所



市制50周年を記念して、「水のまち都留市のシンボル」として、また本市において利用可能なエネルギーの中で、最も期待される小水力発電の普及・啓発を図ることを目的に、市役所庁舎前を流れる家中川にこの水車を完成させた。直径6m、幅2m、ドイツ製の木製下掛け水車。最大出力20kw。

このほか、伊豆市湯ヶ島「落合楼」水力発電所などを視察した。

今後、原子力発電の見直しが進むことが予想される中で、浜岡原発も運転再開ができるか分からない。新エネルギーに対する期待は益々高まっており、新エネルギーの技術革新と普及に向けて積極的に提案していきたい。

山梨県甲府市 東京電力米倉太陽光発電所



山梨県は東京電力と共同で、バブル崩壊により開発が中止された造成地に太陽光発電所の建設を計画。2012年1月の全面運転を目指している。  
・敷地面積:20ha  
・出力:10,000kw(内陸部最大規模)  
・年間発電電力量:約1,200万kwh(一般家庭3,400戸分)  
・CO2排出削減効果5,100t

どうなる? 「日本のかたち」

大都市論が各地で活発化

大阪ダブル選で「維新の会」が圧勝した。橋本徹氏は水道事業の府内完全統合、都市開発事業や広域行政の府への移管など、市と府を統合した「大阪都構想」を打ち出し、二重行政の解消を目指している。一方、横浜市やさいたま市などの政令市は「特別自治市」構想を打ち立て、市が県からの権限移譲により「独立」を目指す。浜松市や静岡市の「特別市」も同様で、私も大いに賛同する。そもそも、このように地方の側から、「自立」の動きが出て来ることは、国が中央集権に固執するあまり、国と地方の役割分担とそのための「国のかたち」づくりの道筋を示さないことにある。失われた20年と云われるように、中途半端な市町村合併をただけで一向に進んでいない。私は「地域主権型道州制」が将来の「日本のかたち」として現実的ではないかと考えており、県議会の議論を盛り上げて国へ働きかけてまいります。



静岡県議会議員 あつみ泰一事務所

〒434-0027 浜松市浜北区油一色132-1  
TEL.053-585-1313  
FAX.053-586-6155

私の県政活動をご覧いただけます県政へのご意見をお寄せください。  
ホームページ ■http://www2.wbs.ne.jp/~atsumi-t/  
Eメール ■atsumi-t@mail.wbs.ne.jp

「あつみ泰一携帯サイト」を開設しました。

携帯カメラでQRコードを撮っていただければ、あつみ泰一のサイトにアクセスできます。是非メール会員登録をお願いします。ホットな話題をお送りします。

